

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
1 池田 貞雄	1 新座市中野地域のインフラ整備及び公共交通について 令和 4 年 6 月議会で一般質問致しました、災害時の新座市と三芳町との水道に関する協力体制等の協定について、今後は現実的にどのように整備をしていくかなど、協定の締結に向けた検討を進めるとの答弁でしたが、現在の進捗状況を伺います。 また、中野地区の公共交通については、地域のニーズに合った方策を検討しているとの答弁でしたが、現在の進捗状況を伺います。 2 市街化農地・調整区域農地・生産緑地について 近年、雑草が背丈ほど伸びている農地が見受けられますが、市としてどのような指導を行っているか伺います。	市長 市長及び 農業委員会 会長
2 嶋野 加代	1 防災庁の発足と市の防災計画について 防災庁が令和 8 年 1 1 月に発足すると聞いていますが、大規模災害などにおける自治体間の連携や日頃の備えなどについても、国レベルで強化されると想定されます。防災庁の発足が、市の防災計画にどのような影響を与えと考えられるか伺います。 2 災害時の避難行動と訓練について (1) 水害対策について 水害時における、本市の避難行動についての基本的な考え方を伺います。また、市民の取るべき避難行動として、垂直避難、自家用車での広域避難等の考え方を伺います。さらに、河川から離れた位置にある運動場や公共施設及び民間施設の駐車場を広域避難場所として指定するとともに、避難者に、当面の水や食料の持参を義務付ける考えはないか伺います。 (2) 地震対策について 一度に多くの人々が避難するとともに、余震などへの恐れから、避難が長期化することが想定されます。上下水道や電気が使えなくなる事態が予想される中、バックアップ体制について伺います。 (3) 小学校での避難行動及び訓練について ア 火災について 校内で火災が起きた場合の避難行動及び火災避難訓練の実施状況について伺います。 イ 水害について	市長 市長及び 教育長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	台風や大雨など、事前予測が可能な場合は基本的に休校にしているという理解でよいか伺います。また、下校時間帯にゲリラ豪雨などが発生するなど、予測が難しい場合への対応について伺います。 ウ 地震について 学校に滞在している時間帯に地震が発生した場合の対応方法について伺います。また、避難訓練の内容及び実施状況について伺います。帰宅については、基本的に保護者が迎えに来るのを待つなどしてはいかがでしょうか。 3 児童の夏休みの過ごし方について (1) 児童の夏休みの過ごし方について 最近ではプールの無い学校もあり、市民プールも廃止されていますが、学校ではどのような夏休みの過ごし方を推奨しているか伺います。地域の取組として、公園でのラジオ体操や、集会所などで大学生が宿題を見えてくれるという事例が各地で行われていると聞いていますが、それらの状況について伺います。 (2) 放課後児童保育室やココフレンドの夏休みの利用について 本市の放課後児童保育室やココフレンドは、夏休みも利用可能であることが好評だと聞いていますが、利用状況について伺います。また、ココフレンドの夏休み開室分が国からの補助金から削減されたと聞いていますが、その影響額及び事業の持続可能性について伺います。 （資料要求：各校における放課後児童保育室の入室児童数とココフレンドの夏休み中の利用人数、過去3年分） 4 道場二丁目地区のまちづくりプランについて 道場二丁目地区のまちづくりについての進捗状況を伺います。本地区には、過去に「道場公園用地」として取得した市有地と旧保健センター跡地が存在していますが、そのおよその位置と面積を伺うとともに、それらの活用方法について、市の考え方を伺います。「公園用地」については、土地買収時に約束されていた都市公園の整備を求める声があり、また、旧保健センター跡地については、まちづくりに十分活用した上での売却を検討すべきと考えますがいかがでしょうか。	市長及び 教育長 市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	（資料要求：道場二丁目地区における市有地の位置図）	
3 上田美小枝	1 身寄りのない高齢者への支援強化について 頼れる親族など身寄りのない高齢者の支援を強化する社会福祉法などの改正法が参議院本会議で可決し、成立しました。単身世帯が増え、親族間のつながりが薄れる中、日常生活や入退院、死後の手続を包括的に支援する仕組みが法制化されました。各都道府県の社会福祉協議会に取組を義務付け、十分な資力のない人は、無料や定額で利用できるシステムを導入するとのこと。支援を担う社会福祉協議会の実効性の確保と体制の強化について伺います。	市長
	2 予期せぬ妊娠相談窓口の一覧サイトの啓発について こども家庭庁は、妊娠に葛藤を抱く人が全国の支援機関のサイトや対話アプリ「LINE」のアカウントにワンクリックでアクセスできる「思いがけない妊娠の相談窓口サイト」を開設しました。悩みを打ち明け、様々な選択肢を知ることができる窓口を「夜間受付」といった希望条件を入れて検索もできます。また、匿名でも対応し、無料です。思いがけない妊娠に特化した相談窓口の一覧を国が掲載するのは初めてだそうです。是非とも啓発していただきたいと考えますが、市の見解を伺います。	市長
	3 小学生が登下校時にかぶる校帽について 気象庁は、近年の記録的な猛暑を受け、30度以上の日を猛暑日とし、この4月から、新たに最高気温が40度以上の日を酷暑日と定めましたが、この通告書を作成した7月には、既に酷暑日が5日間連続でありました。気象の専門家は、少なくともこの先5年間は気温上昇が続くであろうと述べています。近年ますます厳しくなっている暑さを踏まえ、一般質問で再三再四取り上げて推奨している、熱中症対策用の進化系校帽を再度検討し、採用することについて、市の見解を伺います。	教育長
	4 新座市において外国籍の小・中学校に通う年齢に相当する子どものうち学校に通っていない「不就学」やその可能性がある子どもの対応について (1) 「不就学」の状況把握について 2025年5月時点で、小・中学生相当の年齢である外国籍の子どものうち、「不就学」やその可能性が	教育長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	ある子どもの状況の把握について伺います。 (2) 就学を促進する手立てについて 外国籍の「不就学」児童に就学を促進する手立てについて伺います。 5 性教育を進める障壁と指摘されてきた学習指導要領の「歯止め規定」を無くし包括的性教育を学校で学ぶ開かれた教育方針について 茨城県取手市教育委員会は、2026年度から市内全ての公立小・中学校で、性に関する幅広い内容を学ぶ「包括的性教育」を始めました。本年4月1日付けの茨城新聞によりますと、中学生には、「歯止め規定」されている「妊娠の経過である（性交）」にも触れて教えるとのこと。子どもが関係する性トラブルが相次ぐ中、正しい知識を身に付けて被害と加害の当事者にならないよう踏み込んだ性教育を行う必要があると考えます。新座市において、人権を尊重し、性について幅広く学ぶ「包括的性教育」の実施についての考えを伺います。	教 育 長
4 助川 昇	1 キオスク端末の利用拡大について 市民に便利に利用されているキオスク端末だが、まだ利用拡大の余地があると考えている。更なる利便性を求めるため、以下の点について伺う。 (1) 戸籍関係の帳票の写しの取得について 戸籍関係の帳票をキオスク端末で取得できるようにしてはどうか。 (2) 市役所への設置について 市役所本庁舎1階にキオスク端末を新設することでキオスク端末の利用をより身近に感じていただき、コンビニエンスストアやその他公共施設での更なる利用促進につなげてはどうか。 2 シティプロモーション特設サイト「にいぎの魅ドコロ！」の利用促進と活用について 「にいぎの魅ドコロ！」の利用を拡大することで市民活動の活発化、また、新座市のシティプロモーションにつなげることはできないか、市の考えを伺う。 3 大和田水辺の丘公園へのアクセスについて (1) 夏季限定の臨時バスの運行について 新座駅から大和田水辺の丘公園までの区間で夏季限	市 長 市 長 市 長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質　問　者	件名及び要旨（簡条書き）	答弁者
	定の臨時バス便を新設してはどうか。 (2) 駐車場利用料金の上限設定について 現在、大和田水辺の丘公園の駐車場利用料金には課金上限が設定されておらず、長時間の駐車場の利用が必要なスポーツ施設利用者から不満の声がある。駐車場利用料金の上限を設定してはどうか。 4 野火止小学校の放課後児童保育室の適正管理について 野火止小学校の放課後児童保育室の管理体制、利用者の声について伺う。	市　長
5 鈴木　秀一	1 財源を増やす取組について 公共施設の再配置や人口減少による少子高齢化などの問題が山積する中、問題解決のためには、いかに財源を獲得し、市民サービスを向上させ、選ばれる自治体を目指すかにかかっており、新たな財源確保に舵を切らざるを得ないと考えます。茨城県境町は、官民連携により、２０１４年に約３，２００万円だったふるさと納税寄付額を２０２３年には約９９億円にまで成長させ、その取組は「境町モデル」と言われています。新座市も官民連携に力を入れ、財源を生み出す施策に移行すべきです。 2 感震ブレーカー設置補助について 大規模地震時の火災の多くは電気が起因であり、政府の首都直下地震の被害想定では、感震ブレーカー設置率１００％なら焼失棟数、死者数ともに約７割減少すると試算され、感震ブレーカーの設置意義が問い直されています。設置補助を創設して市民を災害から守るべきと考えますが、市の見解を伺います。 3 子育て世代への更なる支援について (1) ０歳からの保育料無償化について 子育て世代の方から、３歳からの保育料無償化で大変助かっているのご意見を頂く一方で、０歳からの保育料が非常に負担であるとのご意見を頂いています。新座市は、こどもまんなか社会を目指しています。新座市が先んじて０歳からの保育料無償化の実現すれば、全国から新座市への転入が増加し、人口減少にも歯止めがかかります。市の見解を伺います。 (2) 子育て世代への負担軽減について １歳と２歳の子どもがいる子育て世代は、時短勤務	市　長 市　長 市　長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	や内勤など、仕事に制限があり、経済的にも苦しくなります。そこで、保育料の減免措置の周知強化や「時短手当」の創設、国民健康保険税と国民年金保険料の免除などの周知を行うべきです。市の見解を伺います。 4 生理用品を公共施設や学校トイレに設置することについて 中東情勢を受けて市民の生活は苦しくなる一方です。生理用品を公共施設や学校のトイレに設置する事業、いよいよ、実施に向けて取り組むべきではないですか。市の見解を伺います。 5 女性用トイレを増やすことについて 国土交通省は、公共施設などの女性用トイレで相次いでいる行列の解消に向け、利用者が男女で同数程度の場合、女性用の便器数を男性以上にする対応方針を公表しました。これを受け、市の公共施設においても、今後、トイレ改修時などで女性用トイレを増やすなどの対応を考えるべきと考えますが、市の見解を伺います。 6 石神二丁目第二児童遊園（どんぐり公園）のスロープに手すりを設置することについて 石神二丁目第二児童遊園（どんぐり公園）では、高齢者の方々が健康寿命促進のために朝の体操を行っており、地域の高齢者の皆様が集われます。公園の入口になだらかなスロープがあるのですが、転倒しないよう手すりの設置の要望が出されています。市の見解を伺います。 7 集会所の建て替えについて 市の公共施設再配置計画の策定が1年延期されました。集会所の建て替えについては、地域の方から様々なご意見を頂いております。集会所1棟の建て替えに約8千万円かかるとのことですが、リースの活用や、ユニットハウスの活用などで低価格の建設はできないものでしょうか。必要な箇所には集会所の建て替えを是非検討していただきたいと思います。市の見解を伺います。	市長及び教育長 市長及び教育長 市長 市長
6 野中 弥生	1 職員等の業務における熱中症対策について 屋外や高温になる屋内での業務の際の熱中症対策として、ファン付ベストや冷却用品等を職員や交通指導員等に配布して安全管理を図るべきではないですか。	市長及び教育長

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	2 畑中ふれあい遊園のボール遊びに対する安全対策について (1) 防球ネットの改修について ボールがネットを超えて隣地のレジャー農園に飛んでくることがあります。ネットフェンスを改修し、レジャー農園で作業する市民の安全を図るべきではないですか。 (2) 遊園内トイレへの壁打ち防止と水道を使う人の安全対策について 遊園内トイレへの壁打ち防止と、水道を使う人にボールが当たらないようにネットを設置する等、安全対策をお願いします。 3 市役所第三庁舎へのW i - F i 整備について 第三庁舎には地域福祉を推進する社会福祉協議会及びボランティアセンターが設置され、市民の利用も多く、災害時にも重要な役割を果たす場所であるので、早期にW i - F i を整備すべきではないですか。	市長 市長
	4 視覚障がい者の施策充実について (1) 視覚で情報が得られない方への情報提供について 視覚で情報が得られない方への、窓口での丁寧な案内や広報等の特集記事での情報提供が必要ですが、市の見解を伺います。 (2) 視覚障がい者向けスマートフォン教室の開催について スマホをお持ちでない、あるいは使い慣れていない視覚障がい者の方等を対象にした、スマホの基本操作や便利なアプリの使い方を教えてくれる教室を開催している自治体があります。視覚障がい者の方が生活しやすくするために必要な施策であり、本市でも開催すべきではないですか。 (3) 市役所・市民会館周辺及び敷地内への点字ブロックの新設及び改修について 市役所周辺及び敷地内の点字ブロックの中には、床面と変わらない色や変色して目立たないものがあり、弱視の方、高齢者やベビーカーの方等が気付かず、転倒や通行不能等の問題が出ています。早急に改善すべきです。また、市役所から市民会館、にいバス停留所へ誘導する点字ブロックも設置すべきです。市の見解	市長

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	を伺います。 (4) 市役所前バス停留所及び庁舎内の音声案内について バス停留所及び横断歩道についての音声案内や、庁舎内のトイレ等への音声案内が必要ではないでしょうか。市の見解を伺います。	
7 堀内 博史	1 分譲マンション住民なりすましへの注意喚起について 昨年 5 月、神奈川県内の分譲マンションの大規模修繕委員会に、工事関係の社員が住民になりすまして入り込み、自社の受注に有利になるよう誘導する事件が発生しました。また、NHK の報道によると、首都圏で少なくとも 7 つのマンションでなりすましが行われたと言われています。横浜市は、ホームページでこの件に関して注意喚起を行っています。新座市としてもこのことを重視していただき、対策を検討していただきたいと思います。市を考えを伺います。	市長
	2 農福連携における新座市の取組について 農福連携とは、一般的には農業と福祉が連携し、障がい者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障がい者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現していく取組です。埼玉県内では、深谷市や熊谷市において行政も農福連携に取り組んでいる例が見られます。2025 年 12 月に「日本農福連携学会」が発足し、農福連携の実践に役立つ研究を行っていくためのプラットフォームがスタートしております。福祉に取り組んできた本市において、農福連携はもっと盛り上がってもよいと思われますが、現在本市ではどのように取り組まれていますでしょうか。また、今後本市が農福連携を調査・研究していく考えはあるのか伺います。	市長
	3 外来種から新座市の自然を守る対策について 埼玉県内では、平成 25 年に特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが発見されてから年々被害地域が拡大しています。埼玉県環境科学国際センターが提供している公式マップによりますと、昨年 7 月 14 日に新座市大和田で成虫 1 匹を発見しています。また、今年 7 月 10 日に板橋区成増で成虫が発見されたと発表しています。富士見市では昨年に 1 匹、今年も 7 月 7 日に同じ場所で 1 匹発見したと発表しています。これまでは県北部、県東部での発見が多く、西部地区、朝霞地区 4 市周辺では発見	市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	例は少なかったのですが、少ないうちに発生を食い止めるべきと思います。今後細心の注意が必要です。本市としてどのような対策を取られるか伺います。 また、オオキンケイギクやナガミヒナゲシなど外来植物撲滅への対策についても伺います。 4 手話言語条例制定の進捗について 令和7年第3回定例会において、手話言語条例の制定は手話が言語であることなどに対する理解促進、普及啓発の手法として有効であるとともに、手話を必要とする方や使用する方の意思が尊重されるという点についても重要であるとの認識を示し、当事者団体との懇談を継続しながら、手話言語条例の制定に向けて検討を行っていくとの答弁をいただきました。あれから1年が経過いたしました。現在どのような取組をされているのか、制定に向けての進捗状況を伺います。	市長
8 谷地田庸子	1 子どもたち一人ひとりに応じた育ちを応援する取組について 保育園・幼稚園・認定こども園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校へと進む節目は、子どもたちにとって大きな環境の変化となります。変化の中で困りごとを一つでも少なくするために、長野県塩尻市では、「元気っ子応援事業」として、母子保健のほか保育園・幼稚園、学校と連携して支援する取組をされています。本市でも様々な相談・訪問支援に取り組まれています。子どもたちの安心を守るためには、これらをつなぐ「切れ目のない連携」の更なる充実が不可欠と考えます。一人ひとりの育ちに応じた環境変化への支援について、現在の取組への評価と、今後の連携強化に向けた市の見解を伺います。 2 学校の火災対応について 学校の防火設備の点検、初期消火や避難手順、避難訓練の実施状況はどのようになっていますか。火災発生時に教職員が避難器具や消火設備を円滑に使用できるように、避難訓練で実際に使用するなど、実効性のある取組を進めるべきと考えます。児童・生徒の安全・安心のための火災対応について、市の見解を伺います。 3 原動機付自転車等のナンバープレートの記念所蔵制度について	市長及び教育長 市長及び教育長 市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	さいたま市では、市民サービス向上や地域の愛着醸成を目的に、原動機付自転車等のナンバープレートに穴あけ加工を施して、持ち帰りを可能とする独自の記念所蔵制度が導入されました。市民が長年愛用した乗り物との思い出を形として残せるよう、また、ご当地ナンバーを通じた地域愛を深めるため、本市でも実施してはいかがでしょうか。 4 食用廃油の回収とリサイクル石けんについて 循環型社会の推進として、環境課窓口においてリサイクル石けんの販売がされています。家庭で使用した油を回収して作られる「リサイクル石けん」は、身近な資源循環を実感できるリサイクルの推進であり、市民の環境意識を高める上で有効と考えます。積極的にこの取組を推進してはいかがでしょうか。 5 大規模災害における断水時の対応について 命を守る重要なライフラインである水道は、大規模災害により大きな被害を受け、断水が長期化すれば、多くの市民生活に支障を来します。飲料水の確保は極めて重要ですが、トイレ・入浴・洗濯などの生活用水の確保も必要不可欠です。大規模災害による断水時に備えた、本市の現在の取組状況と、今後の具体的な対策について伺います。 6 市内道路における安全対策について (1) 東二丁目6番付近の市道第103号線（鐘の音通り）と市道第2088号線の交差点の安全対策について 過去に事故発生があり、非常に安全性が求められる交差点です。歩行者、自転車、自動車により一層の注意喚起を促す対策が必要と考えますが、市の見解を伺います。 (2) 東一丁目19番付近の市道第3号線（トッパン通り）の通学路の安全対策について 東一丁目19番付近の周辺地域は開発行為により新たな住宅が増え、交通量も増加していることから、危険箇所の安全対策が必要と考えますが、市の見解を伺います。	市長 市長 市長
9 鈴木 明子	1 市立小・中学校の屋外にAEDを設置することについて	市長

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	市立小・中学校では屋内に A E D が設置されているため、学校施設開放時に校庭や体育館でスポーツをする市民にとっては使用しにくい状態です。久喜市では、クラウドファンディングなどで集めた寄付金を元に、市内小・中学校全校で屋外に A E D を設置しました。本市では第二中学校において A E D を屋外に設置しましたが、今後も屋外設置校を増やしてはいかがでしょうか。 2 朝の子どもの居場所づくりについて 子どもが小学校に入学すると、登校時間が保育所の保育時間より遅いため、困っているとの声をお聞きします。小学校の始業前に学校や学童施設等で児童を受け入れ、安心・安全に過ごせる場所を提供する自治体が全国で広まっています。市でも導入してはいかがでしょうか。 3 公園の樹木管理について 公園には様々な樹木が植えられています。これらの樹木は、隣接地への越境や電線への接触、繁茂により公園灯などが見えなくなるなど防犯上や安全上の問題を抱える場合があります、また、落ち葉への苦情も寄せられます。公園の樹木管理について市の考えを伺います。 4 A I を活用したデマンド型地域公共交通について 交通不便地域の方の生活の足としてや、高齢者の健康増進のための送迎サービスとして、目的地まで乗り合いで送迎するデマンド交通を導入している自治体があります。利用者は電話やスマートフォン等で希望の日時と停留所を事前に申し込むと、A I が最適なルートや送迎時刻を割り出しスムーズな運行を行います。市でも導入してはいかがでしょうか。 5 部活動の地域展開について (1) 令和 8 年 7 月に行われた地域クラブ体験会について 地域クラブ体験会に参加した人数について伺います。また、学校により体験できる種目数等の偏りはあったでしょうか。さらに、参加した生徒や保護者の感想等もお聞きします。 (2) 文化部等の地域展開について 今回、演劇部の体験会はありましたが、それ以外の文化部等の部活について進捗状況をお聞きします。 (3) 移動手段について	市長及び 教育長 市長 市長 市長及び 教育長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	市のホームページでは活動場所への移動手段は徒歩や自転車、遠方の場合は公共交通機関の利用や保護者の送迎となっています。国の部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインでは、活動場所への移動手段の確保として、既存車両の有効活用（スクールバスやスポーツ団体のマイクロバス）、地域公共交通との連携（運行ダイヤの見直し、利用料への補助、A I デマンド交通や公共ライドシェアの活用）と記載されています。普段通う学校以外が練習場になるケースが想定されますので、安心・安全な移動手段について市の考えを伺います。	
10 伊藤智砂子	1 子育て世帯の家事支援の拡充について (1) 新座市子育て支援ホームヘルパー派遣事業の更なる充実について 出産直後の母親に対するヘルパーの派遣は、当該出産直後の退院の日から起算して30日以内と派遣期間が限定されています。産後の体調の変化や多子世帯等、子育ての環境は様々です。母親の健康等を守るためにも、ヘルパー派遣期間等の拡充及び対象者への周知は重要と考えます。市の見解を伺います。 (2) 育児支援と連携した産前・産後の家事サポート事業の導入について 新座市では、家事支援と育児支援が別事業として提供されています。妊産婦の負担軽減のためにも、産前から産後まで一体的に家事支援を行い、既存の育児支援とも連携して利用できる仕組みに制度を改善すべきと考えます。市の見解を伺います。	市長
	2 若年層の健康増進と子宮頸がん検診受診率向上に向けた「20歳からのからだチェック」の導入について 本市の「30代のからだチェック」は健康意識の向上に重要な事業です。一方で、20歳という年齢は「子宮頸がん検診」の案内が初めて届く節目の年でもあります。 20歳からの子宮頸がん検診に合わせて、若い世代が自身の健康に関心を持つ絶好の機会となる30代のからだチェックの対象年齢を20歳からに拡充することで、双方の受診率向上に向けた大きな相乗効果が期待できると考えます。市の見解を伺います。	市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	3 小・中学校の熱中症対策について 近年、熱中症対策として、ネッククーラーなど冷却材を活用する学校が増えています。しかし、冷却材は1～2時間で溶けてしまい、午後の下校時や部活動では十分に機能しないため、再凍結が可能となるよう保健室等への小型冷凍庫の配備を進め、ネッククーラーなどの効果を最大限に発揮できる環境の整備を図ってはいかがでしょうか。 4 小・中学校ジュニア防災検定について 全国的に災害が多発する中、子どもたちが自らの命を守り、家庭や地域の防災力向上に寄与する教育の重要性が高まっています。岐阜市では、市内の小学4年生から6年生を対象に、防災講習会と「ジュニア防災検定」を組み合わせた育成事業を実施し、次世代の防災リーダー育成に取り組んでいます。本市においても、地域の防災力を高めるため、また防災教育の一環として、「ジュニア防災検定」を取り入れた事業を検討すべきと考えます。市の見解を伺います。 5 野寺二丁目2付近の中沢用水の冠水対策について 短時間に降る大雨のたびに、中沢用水の溢水により野寺二丁目2付近の道路が冠水しています。中沢用水のコンクリート蓋が一部分未設置の箇所があり、道路の冠水に影響を及ぼしていると考えられます。コンクリート蓋の設置及び雨水貯留の拡充など、総合的な改善が必要と考えます。市の見解を伺います。	教 育 長 市長及び 教育長 市 長
11 片山 敏子	1 公共交通の在り方について 本市では現在、新座市地域公共交通計画が策定され、地域公共交通会議が進められています。今回、行政視察で乗車した福岡県古賀市のA I オンデマンド交通「のるーと」は、高齢者の移動支援に一定の成果を上げているとされています。本市においても古賀市の取組を参考に検討してはいかがでしょうか。さらに、公共交通を維持する上で全国的に課題となっている運転手の人手不足への対応として、自動運転バスを導入してはいかがでしょうか。市の見解を伺います。 2 健康長寿ポイント事業の更なる周知について 本市が実施する健康長寿ポイント事業は、65歳以上の方が楽しく健康づくりに取り組める有益な制度です。	市 長 市 長

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	参加促進のため、事業の更なる周知拡大を図るべきと考えますが、いかがでしょうか。 3 学校給食の食器について 本市の学校給食で使用している磁器食器は重く、腰痛等による調理員への負担が大きいほか、割れ・欠けによる安全管理の課題もあります。本市では磁器から P E N 食器への移行を進めていますが、全小・中学校において早期に P E N 食器へ全面移行すべきではないでしょうか。 4 ペット同室避難場所の確保について 横浜市では、ケアが必要な犬猫を対象とした同室避難スペースが新たに開設されます。本市では、これまで同室避難についてはアレルギーや衛生面、避難所スペースの確保などの課題が指摘されてきましたが、ケアが必要なペットの避難環境には改善の余地があると考えます。同室避難場所の確保について市の見解を伺います。	教 育 長 市 長
12 伊藤信太郎	1 妙音沢緑地の保全強化について 当地域が「特別緑地保全地区」に指定されて 2 2 年、「平成の名水百選」に認定されて 1 8 年、木道が完成して 1 3 年が経過しました。その間、緑地内の豊富な湧水と、東京近効では珍しい貴重な山野草が自生するなどして、訪れる人たちに憩いの場を提供してくれました。市の職員及びボランティアの皆さんの保全活動により、近年では、湧水量が安定していることや、住宅地との境界にある植栽の管理が強化されていることなどから、保全目的で管理している兆候が見られています。その一方で、まだ改善すべき点が散見されます。より一層の保全強化を進めるため、下記の内容について手を打つべきだと考えますが、市の見解を伺います。 (1) 大沢の護岸について 大沢の護岸用の石が崩れて散乱していますが、修繕できないでしょうか。 (2) 立て看板について 立て看板が老朽化しており、判読できなくなっています。新装できないでしょうか。 (3) 細道の扉について 市場坂橋に通じる細道の扉を開放できないでしょうか。	市 長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	(4) 「三角地」の用地買収について 妙音沢緑地に隣接する「三角地」の用地買収の進捗について伺います。 (5) トイレの設置について 沿道にトイレを設置するという計画の検討状況について伺います。 2 野火止緑道の緑の保全と創出について 令和8年第2回定例会で本件について一般質問を行いました。その後、新座市内の団体から同様の内容で署名活動がされています。その内容は、①都心に近い場所でありながら、緑とせせらぎを持つこの野火止用水一帯を含めて野火止緑道を後世につなげて残していくことが重要であるとする、②老木やナラ枯れ等により倒木の危険性がある大木を伐採してしまったが、法面が軟弱となり、崩落の危険性が増すと考えられる。災害防止のためにも萌芽更新や実生苗などの処置を要望する、③2023年に策定した「野火止用水保全活用計画」によれば「伐採を行った樹木についても～中略～後継樹木の植栽といった景観の回復が必要になってくる」と明示されている。この項目を順守するためにも今後の対応をお願いしたい、という主旨となっています。これらに対する市の見解を伺います。 3 「新座ふれあいの家」玄関駐車場の改良工事について 玄関にある駐車場は、コンクリートのくぼみの中に植物が植えられているというデザインになっています。そのくぼみにつまずいて怪我をする訪問者が出ています。6月にもその事故があり、男性が指の骨を折るということがありました。今後の事故を未然に防ぐためにも改善が必要だと考えますが、市の見解を伺います。 4 庁舎内に食事処を設置する件について 令和7年第3回定例会で一般質問した項目です。答弁としては、①現庁舎には空きスペースがないこと、②食事処としては、第2庁舎にコンビニエンスストアもあり、休憩できるテーブルもあること、また、職員が利用できる地下にある休憩室が用意されていること、③オープンスペースに出入りするキッチンカーが利用できること、④新庁舎建設の折り、レストランの検討もしたが、建設費を抑え込むため断念したこと等の内容でした。今	市長及び 教育長 市長 市長

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（簡条書き）	答弁者
	回の質問に当たりましては、①市の財政負担なしで、民間事業者に整備・運営してもらう案の検討ができないか、そして、②利用者として大きい比率を持つでであると考えられる市職員に対して、レストラン設置の要望があるかどうかのアンケート調査を行ってみてはどうかと提案させていただきます。市の見解を伺います。	
13 笠原 進	1 西堀小学校の長寿命化工事について 新座市学校施設長寿命化計画（令和 5 年 1 1 月改訂）によれば、西堀小学校の校舎 1、校舎 2 はともに C 評価（広範囲に劣化）で、健全度は 5 8 と 5 3 となっています。早急に長寿命化工事を実施すべきではありませんか。 （資料要求：新座市学校施設長寿命化計画における小学校の劣化判定結果と長寿命化の実施計画の一覧） 2 中学校給食費の無償化について 小学校とともに中学校の給食費の無償化を実施した自治体は、県内でも所沢市、戸田市、川越市など少なくありません。新座市でも来年度から中学校給食費の無償化を実施すべきではありませんか。 3 新座市国民健康保険における 1 8 歳未満の子どもの均等割について 1 8 歳未満の子どもの均等割の 1 / 2 を国が負担することになりました。残りの 1 / 2 を自治体が負担する所も生まれています。新座市でも国保の基金を活用するなどして、残りの 1 / 2 を負担してはいかがですか。 4 会計年度任用職員の待遇改善について 市職員の約 4 割を占める会計年度任用職員の果たす役割は重要です。正規職員と比べると待遇では大きな格差があります。休暇などの改善、賃金の改善が必要です。 （資料要求：①休暇制度の比較 ②会計年度任用職員の種別の賃金）	市長及び 教育長 市長及び 教育長 市長 市長
14 小野由美子	1 子ども食堂やフードパントリーへの支援について 子ども食堂は、家庭の事情で食事が困難な子どもにとって、とても貴重な場所となっています。今、物価高が続き、食材が値上がりしています。子ども食堂の運営に困難が生じないように、助成金などの増額ができないでしょうか。また、フードパントリーへの支援が減ってきていますが、市としての支援はできないでしょうか。	市長

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	2 放課後の部活動の在り方について 令和9年度から、部活動の地域展開が本格的に始まります。保護者は、今そのことで心配しています。保護者の不安を少しでも解消するために、今後の活動はどうなっていくのか伺います。 (1) 拠点校のバランスについて 部活動により、拠点校が決まっています。新座市は南北に長くなっています。拠点校の振り分けはどのように工夫されているのでしょうか。子どもが通いやすいように工夫されていますか。 (2) 大会や練習試合などの日程について 大会の日程は、今までのように、土日で開催されるのでしょうか。大会や練習試合の日程はどのように考えていくのでしょうか。また、地域展開により大会への参加は今後どのようになっていくのでしょうか。 3 にいバスの乗り継ぎについて 高齢者にとって、公共交通機関の充実は大変要望の高いものです。免許返納後も同様に外出することは、健康増進の観点からも大切です。現在のにいバスの乗り継ぎは不便です。新しい地域公共交通会議で考えていくのでしょうか。市内の様々な公共施設等にスムーズに行くことができるように、改善することはできないでしょうか。 4 妙音沢緑地内の三角地の整備について 妙音沢緑地内の三角地の整備については、令和8年度設計、令和9年度実施の計画となっていました。先送りされています。妙音沢にトイレを設置することは、多くの住民の声でもあります。また、妙音沢は多くの市民や、黒目川の散策をされる方が訪れています。整備を進めていくべきではないのでしょうか。	教 育 長 市 長 市 長
15 小野 大輔	1 義務教育学校について (1) 市が進める義務教育学校の整備方針について 市が進める義務教育学校の整備方針について伺う。 (2) 保護者・地域住民への説明と意見反映について 保護者や地域住民への説明及び意見反映の状況について伺う。 (3) 義務教育学校の教育効果と課題の検証について 義務教育学校の教育効果や課題をどのように検証し	教 育 長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	ているのか伺う。 2 千葉豪雨災害を受けての対策について (1) 想定を超える豪雨への避難対策について 令和8年8月千葉豪雨では、浸水想定区域外を含め広範な浸水被害が発生し、道路では多数の車両が立ち往生した。新座市における、線状降水帯等による想定を超える豪雨への避難情報、避難先・避難経路、車両の立ち往生への対策について問う。 (2) 豪雨災害時の被災者支援体制について 本市では過去の豪雨災害において、罹災証明書の発行に担当課の超過勤務が1,000時間を超えるなど、職員への負担が生じている。大規模災害時に迅速な罹災証明書の発行と被災者支援を行うための体制強化について問う。 (3) 災害廃棄物の処理体制について 千葉豪雨では大量の浸水被害が発生し、家具や家電などの災害廃棄物が課題となった。本市では災害廃棄物の仮置場の必要面積を確保できていない状況にある。大規模浸水を想定した仮置場の確保と災害廃棄物処理体制の強化について問う。	市長
	3 地域猫対策について (1) 不妊・去勢手術費用への補助制度について 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用への補助制度を創設・拡充する考えはあるか伺う。 (2) 捕獲器の貸し出しについて 地域猫活動を支援するため、捕獲器の貸し出しを行う考えはあるか伺う。 (3) 地域住民・ボランティア団体との連携について 地域住民やボランティア団体と連携し、地域猫対策を推進する考えについて伺う。	市長
	4 子どもプールへの助成について (1) 地域の負担と役割について 地域の子どもの遊び場・交流の場としての役割と、自治会等が負担している運営費や安全管理にかかる費用について、市の認識を伺う。 (2) 助成制度の復活・拡充について 廃止した幼児プール設置事業助成金の復活や、運営費・安全対策への新たな助成を行う考えはあるか伺う。	市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	う。 5 志木駅南口のハト対策について (1) ハトの居着きとふん害の状況について 志木駅南口の店舗屋根と建物の間にハトが居着き、ふん害が発生している状況を市は把握しているのか伺う。 (2) 歩行者や店舗利用者への影響について 歩行者や店舗利用者への影響についての認識を伺う。 (3) ハトの侵入防止とふん害対策について 関係機関と連携し、ハトの侵入防止やふん害対策を進める考えはあるか伺う。	市長
16 山口 歩	1 災害への備えについて (1) 「最後だとわかっていたなら」教育プログラムについて 東日本大震災から年月が経過する一方、地震や豪雨など、いつ、どこで大規模な災害に直面するか分からない我が国にとって、震災の記憶と教訓を受け継ぎ、命の尊さ、大切な人とのつながり、そして、当たり前の日常のかけがえのなさについて考えることは、重要な学びであると考えます。 岩手日報社では、東日本大震災において大切な人との別れを経験した方々の思いや、震災前に交わされた日常の言葉などを題材として、命の尊さや家族、大切な人との関わり、自らの生き方について考える「最後だとわかっていたなら」教育プログラムを作成し、小・中学校向けの学習指導案を公開しています。 本教育プログラムについての本市の見解、併せて、小・中学校における活用や、各学校が活用を検討できる教材の一つとして情報提供することについて、見解を伺います。 (2) 帰宅困難者対策について 近年、地震災害に加え、従来の想定を大きく上回る豪雨災害が頻発・激甚化しており、災害の種類を問わず、鉄道等の交通機関の停止によって多数の帰宅困難者が発生することも想定されます。 そこで、本市では駅周辺にどの程度の帰宅困難者が発生すると想定されているのか伺います。また、想定	市長及び教育長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	人数に対し、帰宅困難者を受け入れる避難場所等として受入可能な施設数及び総受入可能人数について伺います。 併せて、大規模災害等により駅周辺に多数の帰宅困難者が発生した場合、その人数や状況をどのように把握し、避難場所等への誘導や情報提供を行うのか、鉄道会社との情報共有、災害発生時の連絡体制や役割分担を含め、現在の連携体制及び今後の連携強化について伺います。 2 今後の選挙執行体制について (1) 選挙における電子投票について 近年、選挙における電子投票の実施に向け、条例制定、予算措置、市民向け体験会など、導入に向けた具体的な準備を進める自治体も見られます。本市では、選挙における電子投票の利点及び課題をどのように捉えているのか伺います。また、他自治体の事例を踏まえ、仮に本市の選挙に電子投票を導入した場合、現行の投開票体制と比較して、必要となる経費、投開票等に従事する職員数、投開票に要する時間が、それぞれの程度変化すると見込まれるのか、現時点で試算可能な範囲で具体的な数値を伺います。 (2) 大規模災害時における選挙執行体制について 地震や風水害等の大規模災害が選挙期間中に発生した場合、複数の投票所が同時に使用できなくなることや、避難所の開設、被害状況の把握などの災害対応と選挙事務を同時に行わなければならないことも想定されます。こうした状況に備え、代替となる投票所の確保、選挙事務に従事する職員や代替要員の確保、全庁的な連携・応援体制を含め、大規模災害発生時において選挙を適正かつ安全に執行するため、どのような対応を想定されているのか伺います。	市長及び選挙管理委員会委員長
17 田口 訓子	1 「きょうだい」が同じ認可保育施設に通える環境づくりについて きょうだいが別々の保育施設となり、送迎や行事対応に負担があるとの声を保護者から受けています。待機児童対策に加え、同園希望の実現状況を把握し、利用調整と受入体制を検証する必要があります。他自治体の加点、転園優先、申込時の意向確認も参考に、本市でも同	市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	園の実現率向上と別園期間の短縮に取り組むべきと考え、市の考えを伺います。 (1) きょうだい別園の実態把握について きょうだいで認可保育施設を利用する世帯について、別園世帯数、同園希望とその実現状況及び同園への転園申請・内定件数を把握し、施策の検証に活用することについて、市の考えを伺います。 (2) 年齢別・地域別の受入体制について きょうだいの同園希望を制約する要因を、年齢別・地域別の利用希望、受入可能数、定員及び保育士確保の状況から分析し、受入体制の改善につなげることにについて、市の考えを伺います。 (3) 利用調整基準の検証及び見直しについて 在園するきょうだいと同じ保育施設への申込み、きょうだいの同時申込み及び同園への転園について、現行基準の効果を検証し、同園希望への加点や別園解消のための転園優先等を含む見直しを検討することについて、市の考えを伺います。 (4) 申込意向の利用調整への反映及びA Iの活用について きょうだいの入所の組合せに関する保護者の意向を利用調整に反映すること及び利用調整の最適化に向けたA Iの活用について、市の考えを伺います。 2 男性職員の育児休業取得環境の充実について 男性職員の育児休業取得率が上昇する中、今後は取得率だけでなく、本人が希望する時期・期間に実際に取得できているかという取得実態にも目を向け、取得環境の質を高めていくことが重要と考えます。 (1) 希望する取得時期・期間と取得実績の把握について 育児休業を希望した男性職員について、希望した時期・期間と実際の取得状況との相違をどのように把握し、検証しているのか伺います。 (2) 希望に沿った取得を支える体制について 男性職員が希望する時期・期間に育児休業を取得できるよう、業務・人員体制をどのように整え、その実効性の検証について伺います。 (3) 取得を支える業務・人員体制について 男性職員が、所属業務や周囲の職員への影響を懸念	市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	して育児休業の取得をためらうことがないよう、業務の継続性と周囲の職員の負担軽減を両立する体制の充実について考えを伺います。 3 新座市民会館における文化芸術事業の多様性と充実について 新座市民会館では幅広い事業が行われていますが、市民が身近に多様な文化芸術に触れられる場として、市は事業の多様性と継続性をどのように捉え、指定管理者の事業計画及び評価に反映し、今後の充実につなげる考えか伺います。	教 育 長
18 佐藤 重忠	1 新座市内の緊急一時避難施設について 国や地方自治体は、弾道ミサイルなどの武力攻撃事態等における国民の避難等のための緊急一時避難施設の整備を進めています。都道府県知事は、主たる緊急一時避難施設である公共施設の管理者である市町村と連携し、避難施設の指定を行っております。一方で、新座市内の緊急一時避難施設の指定数が近隣他市と比較してとても少ないのはなぜでしょうか。特に、市立小・中学校の指定が少ない理由についてお聞きします。 また、埼玉県とはどのような協議をされたのでしょうか。新座市の意見はどのように反映されているのでしょうか。小・中学校の指定を増やすよう埼玉県と協議すべきと考えますがいかがでしょうか。 さらに、政府は、本年3月31日に「緊急事態を想定した避難施設（シェルター）の確保に関する基本方針」を閣議決定しました。内容として、特に都道府県単位だった避難施設の指定数が市区町村単位となる等、大きな変化があります。市としてこれをどのように受け止められているのか、どのような影響があるとお考えなのか伺います。 2 市内事業者に対する熱中症対策支援補助事業の実施について 市内事業者を対象とした熱中症対策支援として、冷却機能付き作業服や暑さ指数測定器、移動式スポットクーラー等の導入費用に対する補助金を創設してはいかがでしょうか。 3 「信用保証料」の補助について 長引くイラン情勢を受けて売上げの減少や利益の圧迫	市 長 市 長 市 長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

[illegible]

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	(1) 地域防災計画及び避難所運営の点検について 令和8年熊本地震を始め、近年の大規模災害における課題を踏まえ、本市の地域防災計画、各種マニュアル及び災害対応体制を点検し、必要な見直しを行う考えについて伺う。 また、避難所について、トイレ、水、食料、冷暖房、睡眠環境、プライバシー、要配慮者への対応等、一定期間の避難生活を前提とした生活環境について検証すべきと考えるが、市の考えを伺う。 (2) 大規模断水への対応について 市内の広い範囲で断水が発生し長期化した場合を想定し、応急給水拠点、避難所等への給水、人員及び資機材等について、現在の体制で十分に対応できるか検証すべきと考えるが、市の考えを伺う。 また、高齢者、障がい者等、自ら給水拠点まで行くことが困難な市民への給水体制について伺う。 (3) 避難所以外の被災者支援について 在宅避難、車中泊、親族・知人宅への避難等、指定避難所以外で生活する被災者の所在やニーズを把握し、必要な支援につなげる体制について伺う。 3 動物愛護及び人と動物との共生に向けた取組について (1) 適正飼養及び地域猫活動の推進について 終生飼養、不妊・去勢、所有者明示、猫の室内飼養等、ペットの適正飼養について啓発・支援を充実すべきと考えるが、市の考えを伺う。 また、飼い主のいない猫について、不妊・去勢手術への支援に加え、地域住民、活動団体及び行政が連携し、地域の合意形成、適正な給餌、排せつ物の管理等を含めた地域猫活動を推進すべきと考えるが、市の考えを伺う。 (2) 災害時のペット対策について 本市では、ペットとの同行避難や避難所における基本的な飼養ルール等を定めている。実際の災害時に円滑な受入れができるよう、避難所ごとの受入体制や飼養スペース、運営方法等について検証するとともに、ペット同行避難訓練を実施し、その結果を踏まえて必要な見直しを行うべきと考えるが、市の考えを伺う。 (3) 動物愛護に関する条例等の整備について	市長

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	現在の「新座市飼い犬ふん害等防止条例」の抜本的な見直し、又は、人と動物との共生、動物愛護、適正飼養、地域猫活動、災害への備え等を包括した新たな条例の制定など、本市の動物行政の基本理念並びに市、飼い主、市民及び関係団体等の役割を明確にする仕組みを整備すべきと考えるが、市の考えを伺う。	
20 黒田 実樹	1 新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画（第 10 期）・認知症施策推進計画（第 1 期）策定について (1) 難聴高齢者の早期発見、早期介入への取組について 認知症予防として、難聴の早期発見、早期介入は重要です。一般介護予防事業として、高齢者の集まる通いの場などで、聞こえの講話や聞こえのチェックを積極的に実施してはどうでしょうか。また、補聴器の活用を促進するためにも、補聴器購入費補助制度を実施してはどうでしょうか。 (2) 利用料 2 割負担の対象拡大について 厚生労働省は、次期介護保険事業計画に向けて、介護保険料の利用料 2 割負担の対象拡大を検討しています。年収基準を現在の 280 万円から最大 230 万円まで引き下げることで、最大 35 万人が新たに 2 割負担の対象になる可能性があります。必要な介護サービスの利用を控えることは、介護度の重症化や医療費の増大にもつながります。国に対して利用料の 2 割負担の対象拡大案の撤回を求めていると思いますが、見解を伺います。 （資料要求：介護保険利用料の自己負担割合 1 割・2 割・3 割の年収目安と人数） (3) 気軽に行ける通いの場の拡充について 高齢者いきいき広場を参考に、集会所やふれあいの家を活用し、福祉の窓口の開設時間帯に合わせて一般介護予防事業、参加支援事業の一環として、通いの場を拡大してはどうでしょうか。 （資料要求：一般介護予防事業における通いの場やサロンの開催場所や開催頻度、「福祉の窓口」の実施場所と開催頻度） 2 集会所について 地域では野火止集会所、東一丁目集会所の存続を求める声が広がっています。令和 8 年第 1 回定例会では「利	市長 市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	用の実態等を踏まえながら、柔軟な対応をしていく必要がある」と答弁されています。今後の方針について検討状況を伺います。また、東一丁目集会所のブロックが破損し、砂利や土がこぼれています。修繕していただきたいと思いますが、見解を伺います。 3 第一保育園玄関の電子鍵設置について 公立保育園では、セキュリティ対策として入口に電子鍵の設置が進んでいますが、第一保育園は未設置となっています。早急に設置すべきではないでしょうか。 4 障がい者手帳診断書補助制度、重度心身障がい者交通費助成について 障がいのある人もない人も共に暮らせる新座市をつくるための調査では、「地域で生活するために必要な支援は？」との問いに「経済的な負担の軽減」と答える人が最も多く、特に精神障がいは68.7%と高い状況です。障がい者手帳を取得することで支援が受けやすくなり、社会参加につながりますが、診断書の作成には5,000円～8,000円がかかります。通常は更新の必要がない身体障がい者手帳、療育手帳と比べて、精神保健福祉手帳は2年に一度の更新が必要で、より負担が大きく障がいによる格差もあります。また、身体障がい者手帳で更新が必要な方もいます。令和3年度まで実施していた診断書補助を、障がい区分を問わず復活してはどうでしょうか。また、交通費が年間1万5千円から1万2千円に減額されています。障がい者の社会参加を応援するために元に戻してはいかがですか。 5 地球温暖化対策について 新座市地球温暖化対策実行計画及び新座市地球温暖化対策地域推進計画の温室効果ガスの削減目標は、2030年度における温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減としていますが、現在どこまで実現できているのか、また、今後の課題について伺います。気候危機問題は、市民自身が当事者です。脱炭素社会を実現するために、市民が学び考えて政策に活かす意見を発信する「気候市民会議」を実施してはいかがでしょうか。 (資料要求：新座市地域温暖化対策実行計画及び新座市地球温暖化対策地域推進計画の実施状況、目標達成状況)	市長 市長 市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
21 石島 陽子	1 介護保険制度及び高齢者福祉サービスの高齢者への周知について 新座市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、介護保険制度や高齢者福祉サービスについて、「よく分からない」「情報を知りたい」「広報等でもっと発信してほしい」などの回答が多く書かれています。周知のために、集会所や高齢者相談センター、老人福祉センター、高齢者いきいき広場などで講座を行ってはどうですか。また、広報にいぎで、特集する欄を設けてはどうですか。	市長
	2 第3期埼玉県国民健康保険運営方針について (1) 保険事業等について 新座市として、人間ドックへの助成や保養施設利用助成、自己負担なしでの特定健診の実施を続けるべきと考えますが、どのように検討していますか。 (2) 保険税について 国民健康保険事業では、被用者保険の適用拡大によって保険税の所得割を負担できる被保険者が減っていく見込みです。今でも他の健康保険と比較して、所得に占める保険料負担率が高い国民健康保険税の値上げにつながる保険税水準の準統一化は見直すよう、埼玉県に言うべきではないですか。また、2026年4月の衆議院厚生労働委員会で、「市町村の基金については、保険料の抑制に活用することも可能である」旨の答弁がありました。「保険税率の引下げを目的とした基金残高の取り崩しは行わないこととする」という、埼玉県の運営方針は見直すよう言うべきではないですか。新座市として、引き続き基金の取崩しによって、保険税の引下げを行うべきです。	市長
	3 馬喰橋通りの交通安全対策について 黒目川に架かる馬喰橋と遊歩道との交差点の事故防止のため、横断歩道の再表示、「交差点注意」「自転車・歩行者に注意」「横断注意」などの看板の設置はできないでしょうか。また、県道保谷志木線の片山方面から馬喰橋通りに右折しやすくするため、信号機を時差式にできないでしょうか。	市長
	4 地域公共交通について 令和8年度は、地域公共交通計画に位置付けた施策の	市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

[illegible]

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	に関する具体的なケースについて、改めて市の考えを伺います。 (1) 町別・年齢別居住人口の動向を踏まえた見直しについて 町別・年齢別の居住人口に基づき、学校区ごとに推計された児童・生徒数を基に策定された計画であると理解しています。今後、実績値をどのくらいの頻度で確認し、見直しを検討していくのか、市の考えを伺います。 (2) 小・中学校適正配置等基本方針の策定内容について 策定時の児童・生徒数から大きな差異が発生した学校区について、どのように考え、判断していくのかを盛り込む予定はあるのか、市の考えを伺います。 3 HPV（子宮頸がん予防）ワクチンとがん検診について 健康な人に接種するワクチンは、治療用医薬品より高い安全性が求められます。特に、10代の健康な子どもたちに接種する以上、更に高い精度で安全性を確認するプロセスが必要です。しかしながら、新型コロナワクチンの登場以降、法改正による承認プロセスの改定が行われ、エビデンスとは言い難い根拠に基づいて推進されています。また、リスク評価へ極端に慎重である結果、副反応を訴える被害者が適切な診断や治療を受けられていない状況から、身体に合わなかった人への救済が十分に機能しているとは言い難い環境にあると考えます。さらに、公的機関で公開されている一次情報に基づいて判断すると、子宮頸がんの年代別罹患数や、検診により子宮頸がんに行進する前に発見できる確率から、ワクチンによって得られる効果と接種対象年齢が見合っていないと考えます。また、他の子どもを対象とした定期接種ワクチン13種類の総出荷本数累計は約3億800万本であり、そのうち医療機関及び製造販売企業からの「重篤な副反応疑い報告」は8,006件です。一方、HPVワクチンの総出荷本数累計は約1,820万本で、重篤な副反応疑い報告は2,711件です。これにより、通常の定期接種ワクチンに比べると約5.7倍の報告頻度です。組成や作用機序に変更がなく、安全面で改良されていないHPVワクチンの接種勧奨が2022年に再開さ	市長及び 教育長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	れましたが、接種後に生じた症状の改善が見られず、接種した医療機関から紹介される協力医療機関の受診者数は、2024年度には再開前の約23倍に増加し、現在に至っております。市内のHPVワクチン被害者と相談し、将来ある子どもたちに対して責任を持つべき私たち大人が、市で取り組めることを追求するため、以下について質問します。 (1) 本市の接種状況及びがん検診の受診率について 直近3年間の本市におけるHPVワクチンの接種人数（可能であれば接種率）並びに、子宮頸がん検診の受診者数及び受診率を伺います。また、子宮頸がん検診の受診率を高めるための取組について、市の考えを伺います。 (2) 本市の小・中学校における案内及び啓発の状況について 世田谷区や千葉県の小・中学校において、リスク情報の掲載が全くないHPVワクチン接種推進のチラシが夏休み直前に配布されたとの情報がSNSで拡散されておりました。本市の小・中学校全23校において、偏った情報に基づく推奨が行われていなかったか伺います。 (3) 本市のホームページへの最新リスク情報の追加について 本市と同様に健康被害者が居住している栃木県足利市のホームページでは、HPVワクチン再開後に生じた症状について、調査結果の研究報告が掲載されております。接種の判断材料として、本市でも同様の情報を掲載すべきと考えますが、市の考えを伺います。 (4) 男子へのHPVワクチンが定期接種化した場合の対応について 自民党のHPVワクチン推進議員連盟が、2027年4月からの男性への定期接種化を求める要望を政府へ提出しました。リスクを絶対評価した場合、接種すべき合理性に乏しいワクチンの定期接種化に備えて、2点伺います。1点目は、HPVワクチンの自己負担を設定する事は可能か、また難しい場合の理由について伺います。2点目は、HPVワクチンの接種対象者へ通知するハガキに、以前は「接種期限を過ぎた場合	

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

[illegible]

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	分な備えにより、市民の生命・身体・財産を水害から守れるよう、内水氾濫及び外水氾濫への水害対策の強化に取り組むべきことから、以下の5点について伺います。 (1) 水害対策の取組推進について 令和8年8月千葉豪雨の都市型水害の被害状況から、本市として市民の命と生活を守るため、新たな水害対策をどう進め、市民への支援策をどう考えていますか。 (2) 日頃の水害への備えについて 「洪水キキクル」で緊急情報の取得を周知すべきです。また、自家用車、事業用自動車、公用車などへの緊急脱出用ハンマーの装備及び使い方のマスターを促進するとともに、大雨・豪雨時はなるべく運転を控えることなどをあらゆる機会に広報・周知を図るべきではないですか。 (3) 効果的浸水対策の推進について 豪雨被害解消のため、本格的な浸水対策に向けた取組を着実に推進すべきですが、進捗状況はどのようになっていますか。併せて、応急的な取組を継続して進めるべきではないですか。 (4) 水谷調節池の本市への効果について 水谷調節池の完成による柳瀬川の本市区間における水位上昇軽減への効果について、県からどのような説明を受けていますか。引き続き、県と連携して柳瀬川の水位上昇軽減策を進めるべきではないですか。 (5) スマホで見やすい河川水位情報について 市ホームページでリンクしている柳瀬川及び黒目川の県の水位情報をスマートフォンでも見やすくなるように改善すべきです。また、柳瀬川の本市区間への河川監視カメラの設置をそれぞれ県に要望すべきではないですか。 3 災害時の被害状況保存について 市民・事業者から災害発生時の画像・動画を提供していただくべきです。提供された貴重なデータから、市内各地の被害状況把握、被害発生 の 要因分析と被害軽減策に活用していくべきです。また、自然災害の伝承として、子どもたちに伝えていくべきではないですか。 4 松永安左エ門翁を顕彰する都市間交流について	市長及び 教育長 市長及び

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質　問　者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	松永安左エ門翁に縁の深い自治体が更に連携を強化して松永翁を広く顕彰するため、以下５点について伺います。 (1) 新たな都市間交流について 偉大な功績を残された松永安左エ門翁を広く顕彰するため、縁の深い本市と長崎県壱岐市、神奈川県小田原市、所沢市、福岡県福岡市が新たな都市間交流を結び、松永翁ネットワークの構築を目指すべきです。そして、歴史・文化遺産等の共有や共同イベントの開催、松永翁の足跡を辿るツアー企画、共同のクラウドファンディング実施などを通して松永翁を広く顕彰していくべきではないですか。 (2) 大河ドラマの誘致について 本市にゆかりのある偉人松永翁の知名度を向上させ、地域住民の郷土意識を高めるとともに誇りとするため、先述の４市と連携して大河ドラマの誘致を行うことを提唱すべきではないですか。 (3) 学校教育での郷土意識の向上について 壱岐市では、小学４年生が松永安左エ門翁を授業で学んでいます。本市でも、郷土意識の向上や伝記の学習などから松永翁を知ることは価値があるのではないですか。 (4) シティプロモーションによる顕彰について 新座が誇る偉人として松永翁をシティプロモーション戦略につなげていくことを検討すべきではないですか。 (5) トインビー博士著「歴史の研究」の保存について 松永翁が日本語訳刊行会の会長として邦訳に尽力されたアーノルド・Ｊ・トインビー博士の著書「歴史の研究」全２５巻を学術文献として所蔵し、永久保存できるように努めるべきではないですか。 ５ 新座ふれあいの家の利便性向上について 敷地内駐車場での利用者の転倒が多発するため安全性を確保すべきです。また、実習室のシンクの交換又は屋外水道の整備で、施設を安全で便利に利用できるよう改良すべきではないですか。	教育長
24 よねはし ゆうた	１ 特定外来種クビアカツヤカミキリの被害状況と今後について	市長及び 教育長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	特定外来種クビアカツヤカミキリが国内で大量発生し、関東地方への分布拡大が進んでいる。クビアカツヤカミキリは、桜や梅などの樹木に産卵し、幼虫が2～3年かけて樹木の内部を食い荒らすことで樹木を枯木・倒木する。県内でも被害が多く、環境省などは被害拡大を予防する事前措置や被害対応に対する補助などの活用を推奨している。そこで、市内でのクビアカツヤカミキリの確認や被害の状況を伺う。国や県との情報共有などの連携はどのようになっているか、今後どのように連携して対応策を進めるのか市の見解を伺う。また、通学路や学校敷地内に当該特定外来種の生息する可能性のある樹木はあるか、倒木による危険性があるのかも併せて伺う。 2 保育所入所の申込期間について 本市は30代の子育て世代をメインターゲットとしたシティプロモーションを展開している。少子化が進む中、共働き世帯が増え、保育所の利用需要は年々高まっていると考える。都心近郊の立地を生かし、時代にフィットした政策や施策、行政サービスを推進することで他市からの移住や出生数の増加も期待できると考える。 しかし、移住者や初めて保育を利用する保護者から、本市の1月～3月の入園ができない制度について毎年不便や不満の声が寄せられている。窓口対応時間の見直しに加え、デジタル申請も可能になった現状を踏まえ、放課後児童保育室や他市の例のように、1月～3月でも保育所への入所を認めてはいかがか。市の見解を伺う。 3 新座市道路整備基本計画の改定について 本市では、市民の生活と経済活動を支える重要な基盤施設である道路について、各種上位計画との整合性を図りながら、道路整備事業を推進している。現在、基本計画の期間は令和5年から令和14年だが、道路交通法の改正等により車両の通行状況が変わることが見込まれる。特に、住民から要望の多い生活道路の補修・修繕の優先順位付けや振動対策の強化が必要と考える。ついては、新座市道路整備基本計画を現状や今後の動向に合わせて見直してはいかがか。市の見解を伺う。 4 災害に強いまちづくりについて	市長 市長 市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	(1) 避難所運営のDX推進について 災害時の避難所開設は、被災した地域住民と市職員が連携して行う。発災直後は携帯電話を持参される方は多いが、身分を証明する物や貴重品を持ち出す余力のない方も多くいると聞いている。最近マイナンバーカードの情報をスマートフォンに格納できるなど、デジタル庁が推奨する避難者支援のデジタル化の仕組みは、避難所の運営に有効であると考えている。については、マイナンバーカードを活用するなどのデジタル技術を用いて災害対応の高度化を図る取組を進めてはどうか。仕組みや機器の導入について、市の見解を伺う。 (2) 災害に備えた支援体制の強化について 災害はいつ起こるか予測が難しいため、市民の生命と財産を守るためには、自助・共助・公助の役割や備えが不可欠である。国内の災害対応に関する研究からは、発災時の人の行動様式や、日頃の備えの重要性が改めて明らかになっている。については、本市で実施している耐震ブレーカー等を含む災害対策の補助メニューを改めて見直してはどうか。市の見解を伺う。 5 シビックプライドの醸成について 本市はこれまで市の魅力を発信する活動を行ってきた。現在も調査研究を進め、さらに、積極的に取り組んでいると認識している。については、他市で反響が大きく広告効果があるステッカーの作成・配布や、民間企業の手法を参考にしたぬいぐるみ（ゾウキリン）ストラップ等の改良・展開してはどうか。市の見解を伺う。	市長
25 高邑 朋矢	1 栗原第一集会所について 栗原第一集会所の「廃止」情報は地域住民にとって、青天の霹靂でした。集会所は地域活動の重要な拠点です。老朽化が進み、新しい集会所が建つと期待していた地域住民からは、「廃止の方向性」としている市に対する不信感と不満の声が溢れています。 この集会所の土地は市有地であり、建て替えるのが筋です。市の考えを伺います。 2 （仮称）栗原自然公園について この夏も栗原一丁目公園前の黒目川には多くの人が訪れ、黒目川の自然を満喫しました。ただ、前から指摘し	市長 市長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	ているように、問題は沢山あります。1つはごみの問題です。ごみ箱がないために、川や土手にごみが捨てられるのです。それがプラスチックごみであれば、やがて太平洋に流れ出て、マイクロプラスチックになります。もう1つは自転車の駐輪問題です。子どもたちが遊歩道に置くために、地域住民からは多くのクレームが寄せられています。そして、もう1つは安全上の問題です。黒目川には深い部分があります。多く人が集まるのでトラブルも発生します。市民、特に子どもたちの安全上、人を配置すべきです。市の考えを伺います。 3 放課後児童保育室について 全国的にも、子どもは減少しても学童を必要とする子は増加傾向にあります。子育て応援都市である新座市として、市長は今後の放課後児童保育室をどうしたいと考えていますか。支援員の待遇改善は喫緊の課題です。指定管理者任せでは子育て応援都市が泣きます。 ここにきて、物価高騰の影響が放課後児童保育室にも出てきています。「おやつの量が減ったり、折り紙の枚数制限もある」と聞いています。子どもたちに影響が出ないよう、そして支援員の処遇改善のためにも、指定管理期間の5年間の途中でも指定管理料を見直すべきだと思いがいかですか。 また、保育の質の向上のため、運営者それぞれの研修だけではなく、合同研修をさせてほしいという声が上がっています。「快適未来都市」を訴えている市の考えを伺います。 4 野火止公民館のロビーについて 公民館での飲食が認められるようになり、公民館を利用している多くの市民から喜びの声が寄せられています。本当にありがとうございます。しかし、肝心のロビーでは飲食禁止の張り紙が貼られています。これでは夏休みに午前中から勉強で利用している子どもたちがお弁当を食べられません。食べられる時間を設定するなど、工夫ができませんか。中学生たちはあまり冷房が効いていない中、頑張って勉強していました。冷房の設定は何℃になっていますか。また、野火止公民館のロビーでは、設置されているピアノについても夏休み中の使用禁止の張り紙が貼られていました。余りにも融通が利か	市長 教育長

令和8年第3回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	ないと思います。市の考えを伺います。 5 公園の張り紙について 現在の児童遊園の張り紙「公園内でのボール遊び禁止（未就学児を除く）」はこども基本法に明らかに違反していると思います。新座市はこども基本法の6つの理念をどう考えていますか。市の考えを伺います。 6 中学校の校則について 新座市の中学校には時代遅れのものや意味の分からないものが数多く存在しています。例えば、「女子の髪が肩に掛かったら結ぶ」「5分前入室、3分前着席」「ロッカーにバックが入ってないと遅刻」「暑くても女子はベスト着用」「ゴムの色は黒・茶色・紺」「掃除中は無言」「他学年の廊下に入ったらダメ」「他のクラスの入室禁止」「職員室の入室禁止」「スカートの長さは膝上禁止」などがあります。 校則は各学校で決めるべきものですが、「前年度踏襲」や「上意下達」ではなく、生徒の意見を取り入れ、時代に合ったものに変えていくべきだと思います。このような校則は明らかに「こども基本法」に違反していると思います。この点についても教育委員会の考えを伺います。 7 授業のICT化について 新座市の小・中学校はICT環境が整い、日本の最先端を行っています。その一方で、子どもたちからは「自由進度学習が多く、中には生徒に丸投げの教科もあることが気になります」「タブレットばかりだと覚えられない」「目が疲れる」という声も聞こえてきます。現場の先生たちからも「自由進度学習で教師力が落ちるのは」「タブレットに拘らずに自由裁量で授業をしたい」「2極化が進んでいるのでは」という声もあります。現実には高校受験は紙の問題に紙の解答用紙ですから、子どもたちの言い分にも一理あります。ICT化で子どもたちの学力、先生方の指導力は本当に上がったのでしょうか。教育委員会の考えを伺います。 8 部活動の地域展開について 本年7月からスタートした部活動の地域展開について、現時点での問題点とこれからの課題を伺います。まだまだ暑い日が続いていますが、子どもや指導者が熱中	市長 教育長 教育長 教育長

令和 8 年第 3 回新座市議会定例会一般質問通告書

質問順位及び 質問者	件名及び要旨（箇条書き）	答弁者
	症になったときの避難場所は確保されているのでしょうか。また、中学校との連携はうまくいっていますか。8 月から本登録が始まりましたが、それぞれの部活動の登録人数はどうなっていますか。現在、中学校の部活動で活動している子どもたちの何割くらいが実際に登録しているのでしょうか。 （資料要求：各部活動の登録人数） 9 補聴器購入補助制度について 東京都港区には、「60 歳以上を対象とし、助成額は上限 144,900 円。ただし、住民税課税の人は購入額の二分の一。5 年経過後、再度申請可能」といった難聴者に寄り添った制度があります。難聴は前触れもなくやってきます。若年者の難聴も増えてきています。「快適未来都市」新座として、もう少し難聴者に寄り添った支援ができないでしょうか。市の考えを伺います。	市長